

平成22年度

橋梁技術発表会及び講演会

-安全・安心な鋼橋-

参加費無料
定員650名
申込先着順

13:00~13:10 開会の辞

社団法人日本橋梁建設協会

13:10~13:25 橋建協レポート

こんなにもある鋼橋のすばらしさ!!

需要創造特別委員会

第1部:技術発表会

13:25~14:10

1.複合斜張橋の設計と施工

-銚子大橋(斜張橋部)上部工事-

技術委員会設計小委員会 青木 大輔

14:10~14:55

2.都市内高速道路ランプ橋の
特殊架設工法による施工

-第二京阪道路 門真ジャンクション工事報告-

技術委員会架設小委員会 浦田 保

14:55~15:40

3.鋼・コンクリート合成床版の実橋調査

-鎧橋の載荷実験と非破壊検査-

技術委員会床版小委員会 倉田 幸宏

15:40~15:50

休憩

第2部:伊藤學賞表彰式

15:50~16:00

1.表彰式

16:00~16:20

2.受賞者挨拶(伊藤學賞受賞者)

第3部:特別講演会

16:20~17:20

1.インフラチームジャパンを世界へ

東京大学
工学系研究科 社会基盤学専攻
教授 小澤 一雅



17:20~17:25

閉会の辞

橋梁技術発表会実行委員会

委員長 井上雅夫

平成22年

日時

10

6 水

13:00~17:25

会場

銀座ブロッサム(中央会館)ホール

〒104-0061 東京都中央区銀座2-15-6

Tel.03-3542-8585

申込方法

- ①Fax. 03-3507-5235 (裏面の用紙に記載)
- ②ホームページ(URL) <http://www.jasbc.or.jp/>
の「技術発表会申し込み受付」まで(受付は9月初旬から)

申込期限

平成22年10月1日(金)

懇親会

銀座ブロッサム7階「マーガレット」にて17時40分から開催します。

会費 1,000円

参加ご希望の方は、発表会当日受付にてお申し込みください。

連絡先

社団法人 日本橋梁建設協会

〒105-0003 東京都港区西新橋1-6-11

西新橋光和ビル9階 Tel. 03-3507-5225

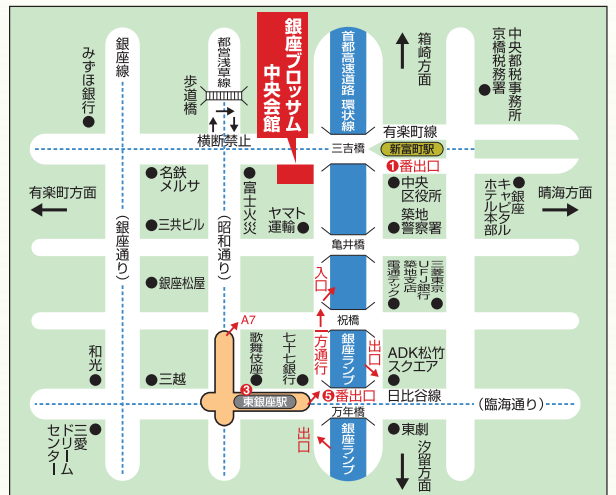
継続教育

CPDS認定予定

- ※大阪地区は 10月29日(金) (特別講演講師:大阪工業大学 栗田教授)
- 東北地区は 11月5日(金) (特別講演講師:東北学院大学 中沢教授)
- 中部地区は 11月11日(木) (特別講演講師:名城大学 宇佐美教授)
- 九州地区は 11月24日(水) (特別講演講師:長崎大学 中村教授)開催です。
申し込み等詳細はホームページでご確認願います。

発表原稿のPPTはホームページに掲載しますので、ご希望のかたはダウンロードするようお願いします。

アクセス



●東京メトロ有楽町線「新富町駅1番出口」徒歩1分

●東京メトロ日比谷線、都営地下鉄浅草線「東銀座駅3・5番出口」徒歩8分

1 複合斜張橋の設計と施工

— 銚子大橋(斜張橋部)上部工工事 —

千葉県東総地域と茨城県鹿行地域を結ぶ数少ない幹線道路として昭和37年に利根川に架けられた銚子大橋は、塩害による著しい損傷および地震などに対する安全性の向上のため、国内初となる鋼コンクリート合成床版を用いたエッジガーダータイプの鋼2主桁複合斜張橋(橋長473.7m)として、平成21年3月に架け替えが完了しました。ここでは、複合斜張橋としての構造概要、ケーブル定着部および鋼コンクリート合成床版における技術検討、主塔、上部工およびケーブルの施工について報告します。

2 都市内高速道路ランプ橋の特殊架設工法による施工

— 第二京阪道路 門真ジャンクション工事報告 —

門真ジャンクションは、近畿自動車道と第二京阪道路を結び、近畿自動車道ならびに大阪府中央環状線を跨ぐ合成床版を有する鋼連続非合成細幅箱桁4橋(A,B,C,Dランプ橋)を架設する工事です。近畿自動車道等の主要幹線道路オーバー部および供用中である物流倉庫上での架設作業となり市街地特有の厳しい制約条件をクリアするため、Aランプ橋は「大ブロック回転横取り工法」、A,Bランプ橋は「近畿自動車道全面通行止めによる大ブロック一括架設工法」、Bランプ橋は「大型ペントを使用した張出架設工法」などの特殊架設工法を用いて施工しました。これら特殊架設工法の施工事例について報告します。

3 鋼・コンクリート合成床版の実橋調査

— 鎧橋の載荷実験と非破壊検査 —

橋建協では、合成床版の健全度評価方法として、床版たわみで劣化度を判定する方法を検討しています。RC床版では、衝撃加振によるたわみ計測方法が東京都土木研究所で開発されていますが、これを合成床版に適用することを検討しました。東京都の鎧橋を対象として、衝撃加振によるたわみ計測と荷重車を用いた静的載荷実験および各種非破壊検査を実施した結果を紹介します。

特別講演会 講演者紹介

1 インフラチームジャパンを世界へ

— 略歴 —

1986年に東京大学大学院工学系研究科土木工学専攻修士課程修了。東京大学工学部の助手・専任講師・助教授を経て、2004年より東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻教授。1997年から3年間、建設省土木研究所建設マネジメント技術研究センター主任研究員を務め、2010年4月から(社)土木学会建設マネジメント委員会委員長。
工学博士(東京大学)

— 研究分野 —

建設マネジメント

— 所属学会 —

土木学会 正会員 等

— 受賞 —

土木学会 論文奨励賞・技術開発賞・出版文化賞・吉田賞
日経BP 技術賞
米国コンクリート学会/カナダ資源エネルギー協会 技術貢献賞 等

小澤 一雅

東京大学
工学系研究科
社会基盤学専攻 教授

講演概要

わが国のインフラや建設産業が国際展開を推進する際には、産学官が一体となった戦略的な取り組みが求められる。インフラチームジャパンのしくみをつくり、「産」には国際展開の担い手として海外市場を主戦場に据えた積極的な役割を、また、「学」には海外フィールド研究の推進、海外市場に対応できるひとつくりへの積極的な取り組みを、そして、「官」にもチームジャパンの一員としての主体的な取り組みが期待される。加えて、国際展開を進める上でのわが国のマネジメントシステムの改善、海外での活用等についての方策が重要である。

FAX番号:03-3507-5235

平成22年度

10月6日(水)

橋梁技術発表会

[東京地区]

参加申込書

所 属

団体名

所属

氏 名

役職

氏名

住 所

〒

電話番号

FAX番号

E-mail

前回参加の有無 有 ・ 無